

神戸グローバル チャレンジプログラム

神戸大学教育改革

クォーター制(ギャップターム)の導入

神戸スタンダードの設定

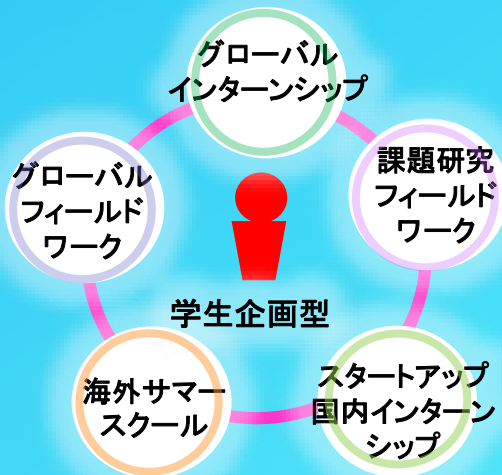
初年次セミナーの開講

ナンバリングの導入

教養教育科目の再編成

・基礎教養科目 ・総合教養科目 ・高度教養科目の新設

国際的なフィールドでの
多様な学外学修コース



学内体制 (全学体制)

- グローバルチャレンジ委員会によるコースの選定「グローバルチャレンジ実習」として単位化
- コーディネーターやアドバイザー教員による学生への事前・事後学修、サポートの実施
- 神戸大学基金、同窓会、後援会からの支援

本プログラムによる効果

- 1・2年生を対象とすることによる学びの動機づけ
- 学生の主体的な学修の促進
- 国際的なフィールドでの更なる活動にチャレンジする精神を育成
- 英語力の向上

卒業時の目標

「神戸スタンダード」を身につけ課題発見・解決型グローバル人材となること

卒業時

水準3

水準2

水準1

水準0

3~4年生

チームワーク力

自己修正力

課題挑戦力

プログラムに参加した学生が最終的に身に付ける3つの能力をループリックで測定

1~2年生
ギャップターム

